

「災害時における自主避難ポイントセミナー」

災害時にとるべき行動や備え

「浦安市自治会自主防災組織連絡協議会防災リーダー研修」

2024年1月27日

【プログラム】

1. 「災害時にとるべき行動や備え」

- ・能登地震、過去の大規模災害の教訓・課題
- ・確率を過信しない
- ・優先すべきこと 有事に行動（避難）が出来るか
- ・避難所での生活を想定する
- ・保険の役割

2. 「防災VR体験」 地震・水災・火災（煙）

- ・自分ごと 危機意識の向上

■ 概要と課題点

MS&ADインターリスク総研 災害リスク情報（別紙）から

- ・M7 震度7を観測 想定以上の被害となった
- ・原因は逆断層のズレ
- ・揺れ、倒壊が大きい「長周期地震動」階級4が発生
- ・津波も輪島港で1.2m 想定以上の被害
- ・旧耐震基準の木造住宅が多かった
- ・地震に付随し火災発生（通電火災）が密集地域で多く発生
- ・元日のため 休暇、帰省、観光客が多く 個人の避難が重要だった
- ・土砂災害が多く発生 半島の道路を遮断し物流が困難となった
- ・周辺地域 富山・新潟でも液状化被害が広範囲で発生
- ・半島地震 1次避難 ⇒ 2次避難への移行が課題となった
- ・SNS上の偽情報（デマ）が拡散された

能登半島地震をふまえて

出展：当社「cmap」アプリから



確率を過信しない： 想定以上の震災が発生する

■ ハザードマップ比較

当社「ハザード情報レポート」より 使用データはJ-SHIS 地震ハザードステーション

	表層地盤のゆれやすさ	ややゆれやすい	地域
①地震情報	今後30年間に想定震度の揺れに見舞われる確率 (最大ケースにて算出)	震度5強以上	26.38% %
		震度6弱以上	6.79% %
		震度6強以上	1.24% %
		最寄りの活断層名	邑知潟断層帯
活断層までの距離	約 39km		

	表層地盤のゆれやすさ	ややゆれやすい	地域
①地震情報	今後30年間に想定震度の揺れに見舞われる確率 (最大ケースにて算出)	震度5強以上	99.79% %
		震度6弱以上	85.49% %
		震度6強以上	35.95% %
		最寄りの活断層名	綾瀬川断層伊奈-川口区間
活断層までの距離	約 23km		

当社は自然災害の早期解決 にcmapを活用しています

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP



まだ誰も知らない安心を、ともに。

～リアルタイム被害予測～ 防災・減災cmap (シーマップ)

あいおいニッセイ同和損保・エーオン 横浜国立大学による災害共同研究の一環で開発し、開発公開しています。



◆ cmapの主な機能

- 台風・豪雨・地震による建物被害予測
被災建物・被災件数率を市区町村ごとにリアルタイムで予測します (※2)
- SNSのAI解析
SNS等のビッグデータをAIで即時解析、都道府県単位でアラート表示します
- 気象庁の防災気象情報
警戒レベル3・4・5相当地域を可視化します(1分ごとに情報更新)
- 台風上陸前から最大7日先の建物被害予測情報
表示3パターン(予想進路と最大7日先の被害予測結果を表示します)
- 自治体の避難先情報
全国の「避難場所」「避難所」、一部自治体の「避難所避難情報」を表示します

被災建物数、被災件数率予測の表示イメージ



◆ SNS情報表示機能

- IX通信社のFASTALERT情報の一部を閲覧いただけるサービスです
- 気象・災害・ライフラインに関するSNS情報を都道府県ごとに表示します
- 大雨や河川増水など、被災前後の情報を速報として確認いただけます



AI解析によりフェイクニュースを除去して表示します

◆ 地震の被害予測表示機能

- 震度3以上の震度情報を約10分後に表示します
- 震度5弱以上で建物被害予測結果を表示します



※注：cmapで表示する被災建物数等の情報はシミュレーションによる予測結果であり、その結果が高精度の被災建物数と一致することを保証するものではありません。分析結果は速報や注意報に関するのではなく、避難の判断基準に使用するものではありません。

cmapアプリの主な機能

平時

災害発生時

発生後

天気予報・生活指標 天気予報や洗濯指数・傘指数等の生活指標を確認できます	地域のリスク 事故・事件・災害等、地域のリスク情報を閲覧・投稿できます	渋滞情報・バリアフリーマップ 道路情報の他、バリアフリー情報を確認できます	ハザードマップ 洪水・土砂関連・津波ハザードマップをいつでも確認できます
災害時の緊急情報 現在地+登録2地点の緊急情報をプッシュ通知で受け取れます	防災・減災アドバイス 気象警報・特別警報発信時に防災・減災アドバイスを確認できます	cmap・SNS情報 建物被害予測やSNS情報、警戒レベル3～5相当地域を確認できます	避難先情報 避難所の位置や開設情報、避難場所の空き情報(一部自治体)をリアルタイムで確認できます

今すぐアプリをダウンロード!

●ご相談先

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

災害発生時にすべき優先順位

1. 「命」を守る！

避難！



「安全確保」する ⇒ 「避難所へ」向かう

「避難警報」が出たらためらわず 避難所へ！

2. 「財産」を守る！

避難！



落ち着いてから「安否確認」する ⇒ 被害状況確認は後 ⇒ 復旧

「財産」に関する保険に加入していれば 安心して逃げる事が出来ます！



平時に保険を点検し、見直してみましよう！

個人保険 の 基本全体像

「人保険」

生命・身体をまもる

- 生命保険
「死亡保障」
「医療保障」等

■ 傷害保険



- 所得補償保険

「物保険」

財産をまもる

- 火災保険
「建物」・「家財」



- 自動車保険
「車両保険」



- 動産総合保険
- 盗難保険

「賠償責任保険」

他人への賠償

- 自動車保険
「対人賠償責任」
「対物賠償責任」

- 個人賠償責任保険
日常生活賠償責任保険

- 受託物賠償責任保険
(他人からの預かり物)

- 「天災」時 に財産カバー出来る保険について知っておく必要があります
※天災は 基本免責です

「保険」の役割は生活再建 安心して避難するため点検を

- 日本では台風や地震だけでなく、雹（ひょう）・雪・竜巻など、さまざまな災害リスクが想定されます。
- 火災保険では、さまざまなリスクに対応することができます。

【主な自然災害】



台風



落雷



雹(ひょう)



雪



竜巻

ご加入のプランによっては補償対象外となる場合があります。



豪雨による浸水



地震



地震による火災



津波

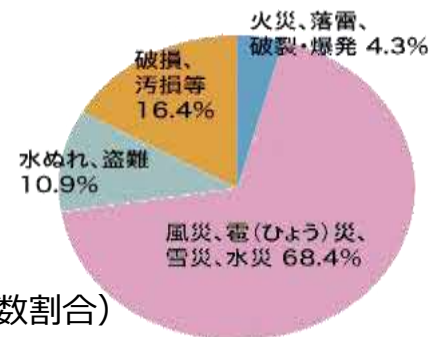


噴火

右表の通り、建物の事故については「**自然災害に関する事故**」が**68.4%**と、最も多く発生しています。自然災害から破損・汚損等の偶然な事故まで火災保険でしっかり備えることで、自宅をリスクからしっかり守りましょう。

(選択いただく契約プランで補償の内容が異なります。)

(2015～2019年当社すまいの火災保険の事故件数割合)



特に「地震」・「水災」時 にカバーできる額を知ること？



【地震】

地震保険で対象となる損害は、地震・噴火またはこれらによる津波を直接・間接の原因とする火災・損壊・埋没・流失によって、「居住用の建物」、「家財」に生じた損害です。
地震保険は火災保険に付帯する方式での契約となりますので、火災保険への加入が前提となります。

(具体例)

- ①地震の震動による倒壊
- ②地震によって転倒した石油ストーブ等によって生じた火災
- ③地震による津波によって生じた流出、倒壊
- ④噴火によって生じた損害
- ⑤地震や噴火によって生じた土砂災害による流出、埋没

<地震保険の支払われ方 ※平成29年以降保険始期>

損害の程度	お支払いする保険金
全損	地震保険金額の全額
大半損	地震保険金額の60%
小半損	地震保険金額の30%
一部損	地震保険金額の5%

<保険金額設定例>

【火災保険の保険金額】

- 建物：5,000万円
- 家財：2,000万円

【地震保険の保険金額】

- 建物：2,500万円
- 家財：1,000万円

火災保険の
保険金額の
30%～50%
の範囲内

<地震保険の内容とその果たす目的>

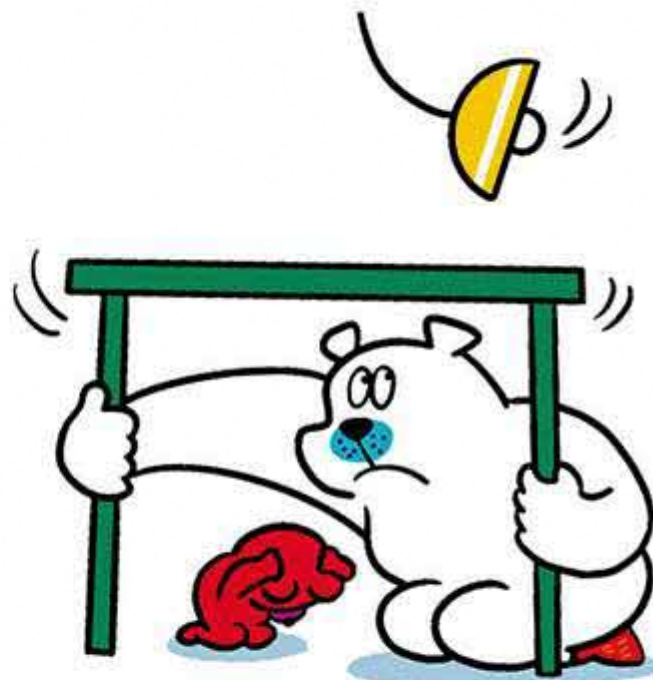
- ・地震保険はなぜ火災保険の保険金額の50%までしか契約できないのか？
→巨大地震発生時も保険金のお支払に支障をきたさないため。
- ・地震保険は、なぜ実損害額でなく「定額」でのお支払なのか？
→短期間に大量の損害調査を行い、迅速かつ公正に保険金をお支払するため

地震保険金は
「被災物件の完全復旧」でなく、
「当面の生活安定費用」を目的

①【地震】はじめに

🏠 地震

日本は「環太平洋地震帯」に位置する地震多発国です。東日本大震災や熊本地震、北海道胆振東部地震などによる被害は、私たちの記憶に新しく、今も避難生活を余儀なくされている方々がたくさんいます。いざ地震が発生したときに被害を最小限におさえるために、一人ひとりがあわてずに適切な行動をとることが極めて重要です。日頃から「大地震は必ず来るもの」という意識を持ち、正しい行動のしかたや心構えを身につけておきましょう。



▼ 地震が起こると

▼ 備えておこう！

▼ いざというときには

【地震】はじめに__（補足）発生した大地震について

	地震の発生日時	震央地名	M	最大震度
1	2022/3/16 23:36	福島県沖	M7.4	6強
2	2021/2/13 23:07	福島県沖	M7.4	6強
3	2019/6/18 22:22	山形県沖	M6.7	6強
4	2018/9/6 03:08	胆振地方中東部	M6.7	7
5	2016/04/16 03:55	熊本県阿蘇地方	M5.8	6強
6	2016/04/16 01:25	熊本県熊本地方	M7.3	7
7	2016/04/15 00:03	熊本県熊本地方	M6.4	6強
8	2016/04/14 21:26	熊本県熊本地方	M6.5	7
9	2011/04/07 23:32	宮城県沖	M7.2	6強
10	2011/03/15 22:31	静岡県東部	M6.4	6強
11	2011/03/12 03:59	長野県北部	M6.7	6強
12	2011/03/11 15:15	茨城県沖	M7.6	6強
13	2011/03/11 14:46	三陸沖	M9.0	7
14	2008/06/14 08:43	岩手県内陸南部	M7.2	6強
15	2007/07/16 10:13	新潟県上中越沖	M6.8	6強
16	2007/03/25 09:41	能登半島沖	M6.9	6強
17	2004/10/23 18:34	新潟県中越地方	M6.5	6強
18	2004/10/23 18:11	新潟県中越地方	M6.0	6強
19	2004/10/23 17:56	新潟県中越地方	M6.8	7

全世界で発生したマグニチュード6.0以上の地震の約

20%

が日本周辺で発生
(2000～2009年の期間)

**日本には
自然災害が発生しない
安全地帯はない**



【地震】はじめに__（補足） 自助・共助・公助について

・防災対策・災害対応を考えるうえで「自助／共助／公助」という考え方があります。



～阪神淡路大震災で生き埋めになった人たちが、誰によって救出されたか？～

回答	割合
自力で	34.9%
家族に	31.9%
友人・隣人に	28.1%
通行人に	2.6%
救助隊に	1.7%
その他	0.9%

自助が66.8%!
→自助の重要性

出典：(社)日本火災学会「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」

(出典) 東京消防庁 <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/ts/sa/disaster.html>

【地震】地震が起こると



地震が起こると

地震による被害には、津波を除けば、建物倒壊、火災の発生、土砂崩れ、液状化現象などがあります。また、今後発生することが予想されている「首都直下地震」や「南海トラフ巨大地震」などでは、津波被害のほか、以下のような大都市特有の被害も多く発生するものと考えられます。

一般的には大都市で地震が起きると…

- ✓ 古いビルそのものが崩れたり、落下物が発生する
- ✓ 電話がつながりにくくなる
- ✓ 道路が通れなくなる
- ✓ 電車が動かなくなる
- ✓ 電気・ガス・水道が使えなくなる



出典：首相官邸「地震では、どのような災害が起こるのか」

【地震】1. 地震が起こると__補足資料

液状化が発生すると・・・

①道路の地盤沈下



通行が困難になる

②家屋が傾く



居住が困難になる

③地中の水道管が破損



断水が発生する

【地震】1. 地震が起こると__補足資料

では、大地震が発生するとどのような状況になってしまうのでしょうか？

(例) 南海トラフ地震のシミュレーション動画 (3分03秒)



(リンク) http://wwwc.cao.go.jp/lib_012/nankai_02.html

【地震】1. 地震が起こると__補足資料

内閣府では、大規模地震の被害想定と対策について関係者の理解を深め、自助・共助の取組みを促進すべく映像資料を作成・公表しています。

・映像の視聴（内閣府防災情報のページ）

http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/nankai_syuto.html

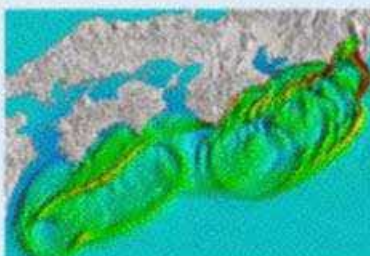
南海トラフ巨大地震編

地震・津波発生のメカニズムや過去の地震について解説した後、南海トラフ沿いでマグニチュード9クラスの巨大地震が発生した想定でシミュレーションしていく

～イメージ～



強い揺れによる
建物崩壊



広域に及ぶ津波災害



巨大津波による被害

（出典）内閣府：南海トラフ巨大地震、首都直下地震の被害と対策に係る映像資料について

首都直下地震編

日本全国で発生する内陸直下の地震について解説した後、都心南部直下でマグニチュード7.3の地震が発生した想定でシミュレーションしていく

～イメージ～



強い揺れによる
建物崩壊



地震火災の発生



帰宅困難者の大量発生

【地震】1. 地震が起こると__補足資料

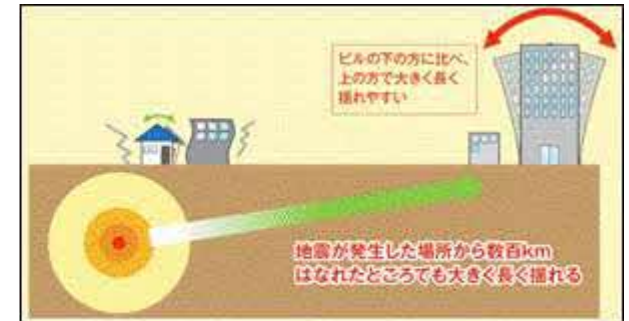
1. 長周期地震動とは

(出典：気象庁「知ってる？長周期地震動のことリーフレット」)

大地震が発生したときに生じる、周期（揺れが1往復するのにかかる時間）が長い揺れのことを長周期地震動といいます。

(特徴①) 高層ビルを、長時間にわたって大きく揺らします。

(特徴②) 遠くまで伝わりやすい性質があります。



2. 長周期地震動階級とは

高いビルでの長周期地震動による揺れの大きさは震度ではわからないため、「長周期地震動階級」という目安で表します。



3. 発生した場合の心構え

- ①ビルの高層階では揺れが長時間（10分以上）続くことがあります。落ち着いて安全な空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。
- ②震源から遠く離れていても、ビルの高層階では大きく揺れる可能性があります。油断しないようにしましょう。

【地震】1. 地震が起こると__補足資料

・長周期地震動に関する映像



リンク先：気象庁HP

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/choshuki/choshuki_eq5.html

【地震】1. 地震が起こると__補足資料

ライフラインについては、一般的に以下のように考えられます。

	電気	水道	ガス	通信	道路	鉄道	(参考) エレベータ
震度 4						緊急停止後、徐行運転	震度計が感知すると、最寄り階で停止。
震度 5 弱	(一部停電)	(一部断水)	センサーによるガス遮断やガス会社による供給停止	一時輻輳(通信制限)	高速道路などで通行止めや速度制限	運転見合わせ	
震度 5 強							
震度 6 弱以上	(多くの地域で停電)	(多くの地域で断水)		輻輳(通信制限) 「災害用伝言ダイヤル」や「災害用伝言板」の開設	通行禁止区域など		

復旧目安 (例)	1週間	1ヶ月 (上下水道)	1ヶ月 (都市ガス)	2週間輻輳	1ヶ月	1ヶ月	
-------------	-----	---------------	---------------	-------	-----	-----	--

【地震】2. 備えておこう__①家具の転倒を防ぐ

備えておこう!



家具の転倒を防ぐ

建物が無事でも、家具などが転倒すると、下敷きになってケガをしたり、避難経路がふさがれたりしてしまいます。被害を少しでも小さくするために、家具の転倒防止用グッズなどを利用してあらかじめ対策しておきましょう。

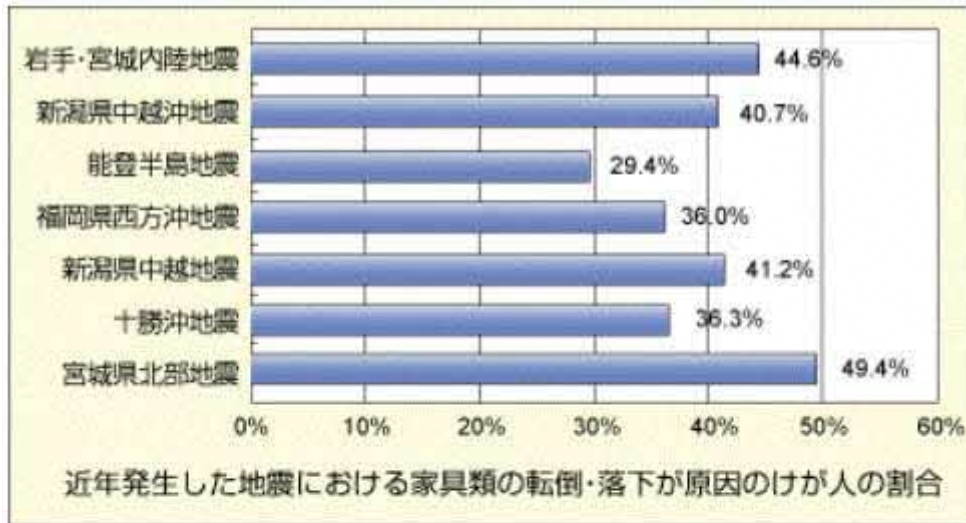
- ✔ タンスや棚はL型金具などで壁の棧や柱に固定する
- ✔ 引き出しや観音開きの扉にストッパーなどを取り付ける
- ✔ 扉がガラスの場合はガラス飛散防止フィルムを貼っておく
- ✔ ネジ止めが難しい場合は家具転倒防止器具を利用する。「粘着マット式」「ストッパー式」「ボール式」などを組み合わせることによって転倒防止効果が高まる

【地震】2. 備えておこう__①家具の転倒を防ぐ__補足説明

・地震による負傷原因の多くは「家具類の転倒・落下」です。

●過去発生した地震における家具類の転倒・落下が原因のけが人の割合

<出典> 東京都耐震ポータルサイト



地震による負傷者の内、
30%～50%が家具類の転倒・落下が原因！

●首都直下地震による負傷者数の想定



都内全域で約54,500人が家具類の転倒・落下
で負傷すると想定されている！

【地震】2. 備えておこう__①家具の転倒を防ぐ__補足説明

・地震によって家具類がもたらす被害

＜出典＞ 東京都耐震ポータルサイト

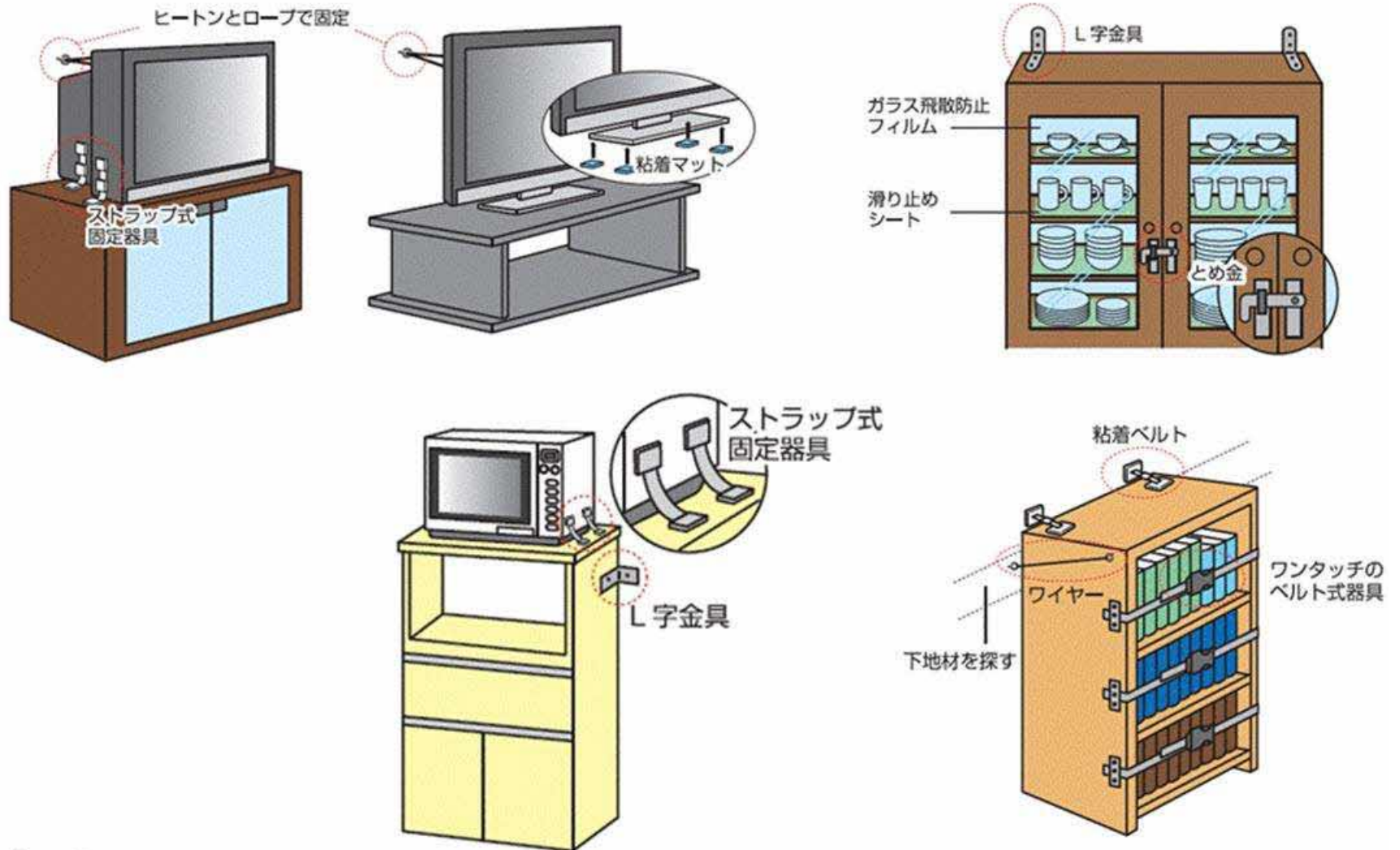


・周囲の人、物への被害

・避難通路の障害

【地震】2. 備えておこう__①家具の転倒を防ぐ__補足説明

・大地震が発生した場合の家具・冷蔵庫・テレビなどの固定方法の例は以下の通り。



<出典> 内閣府

【地震】2. 備えておこう__①家具の転倒を防ぐ__補足説明

“自分の命、安全は自分で守る”ためには、必ず家具や家電製品の固定をしておきましょう。

●地震動に対する対策器具の効果

使用条件	器具の効果				
	小				大
単独使用	<p>ストッパー式</p>  <p>マット式</p> 	<p>ボール式</p> 	<p>L字金具 (スライド式)</p>  <p>ベルト式</p>  <p>チェーン式</p> 	<p>L字金具 (上向き取付け)</p>  <p>プレート式</p> 	<p>L字金具 (下向き取付け)</p> 
組合せ使用	<p>家具と天井に十分な強度が必要</p>		<p>ボール式 + マット式</p> 	<p>ボール式 + ストッパー式</p> 	

家具、壁面や器具に十分な強度が必要

・L字金具による固定が最も効果が高い！

・ボール式（つっぱり棒）を採用する場合は、その他器具との組み合わせがおすすめ！

【地震】備えておこう_②住宅の耐震診断と耐震補強

備えておこう!



住宅の耐震診断と耐震補強

1981年5月31日の建築基準法施行令改正以前に建築された建物は大地震の安全性が低いとされています。セルフチェック（国土交通省「誰でもできるわが家の耐震診断」）を行い、気になる項目が多ければ、専門家による診断を受け、自分の家が安全かどうかを確かめましょう。また、地震発生後にもふだんどおりの生活を送るためには住宅の耐震化が非常に重要です。必要に応じて耐震補強を行い、自分の家の安全を確保しましょう。

国土交通省「誰でもできるわが家の耐震診断」

【地震】備えておこう_②住宅の耐震診断と耐震補強（補足）

耐震基準は、科学技術の進歩や地震被害による教訓を受け、何度も改正された。
1981年の改正以降、耐震性が大きく向上している。

耐震基準

歴史地震

建築年と被害状況との関係

旧耐震基準

1924年 市街地建築物法 改正

・設計用の地震力(0.1G)を初めて規定

1950年 建築基準法 公布

・設計用の地震力を0.2Gに引上げ

1971年 建築基準法施行令 改正

・RC造柱の補強方法を厳格化

新耐震基準

1981年 建築基準法施行令 改正

・中地震と大地震の2段階での耐震設計

1995年 耐震改修促進法 公布

・旧耐震基準建物の耐震化の促進

2000年 建築基準法 改正

・性能規定、限界耐力計算法の導入

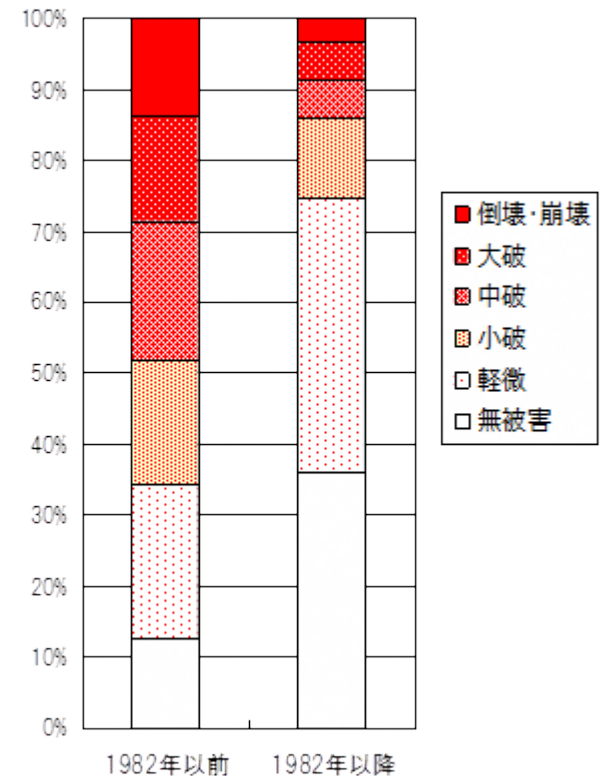
← 1923年 関東地震

← 1948年 福井地震

← 1964年 新潟地震
1968年 十勝沖地震

← 1978年 宮城県沖地震

← 1995年 兵庫県南部地震



平成7年阪神・淡路大震災建築震災調査委員会中間報告より作成

【地震】備えておこう_②住宅の耐震診断と耐震補強（補足）

国交省のセルフチェックシートの内容は以下の通り。

NO	問診	評点	
		1	0
1	建てたのはいつ頃ですか？	建てたのは1981年6月以降	建てたのは1981年5月以前
2	いままでに大きな災害に見舞われたことはありますか？	大きな災害に見舞われたことがない	床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した
3	増築について	増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った。	必要な手続きを省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした
4	傷み具合や補修・改修について	傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う	老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している
5	建物の平面はどのような形ですか？	どちらかというとき長方形に近い平面	どちらかというときLの字・Tの字など複雑な平面
6	大きな吹き抜けがありますか？	一辺が4m以上の大きな吹き抜けはない	一辺が4m以上の大きな吹き抜けがある
7	1階と2階の壁面が一致しますか？	2階外壁の直下に1階の内壁または外壁があるまたは、平屋建である	2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない
8	壁の配置はバランスがとれていますか？	1階外壁の東西南北どの面にも壁がある	1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある
9	屋根葺材と壁の多さは	瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。 または、スレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である	和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない
10	どのような基礎ですか？	鉄筋コンクリートの布（ぬの）基礎またはベタ基礎・杭基礎	その他の基礎

10点	➡	ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう
8～9点	➡	専門家に診てもらいましょう
7点以下	➡	心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう

（出典：国土交通省「誰でもできるわが家の耐震診断」）

【地震】備えておこう_②住宅の耐震診断と耐震補強（補足）

耐震診断・耐震補強

自治体によっては、無料の診断、助成制度や耐震相談等の事業を実施しているケースがある。
自治体のホームページ等を確認して検討を行う。

[世田谷区、横浜市の例]

自治体	対象	支援制度	支援内容
世田谷区	木造住宅	無料耐震診断	区登録の耐震診断士を無料で派遣。
	木造住宅 (構造評点が1.0未満と判定)	耐震診断後の助成	耐震改修設計では30万円を限度に助成 耐震改修工事では100万円を限度に助成
横浜市	木造住宅	横浜市木造住宅耐震診断士派遣事業	木造住宅耐震診断士を無料で派遣。
	木造住宅 (上部構造評点が1.0未満)	横浜市木造住宅耐震改修促進事業	一般世帯は75万円を限度に助成 非課税世帯は115万円を限度に助成
	分譲マンション	横浜市マンション耐震診断支援事業	診断費用の2/3～5/6を補助
	分譲マンション	横浜市マンション耐震改修促進事業	耐震改修設計費の2/3や改修工事費の一部などを補助

※自治体の事業の対象となるには、上記に記載の条件のほか、一定の条件を満たすことが必要となります。
詳しくはお住まいの自治体のホームページを確認ください。

備えておこう!



家族で情報を共有する

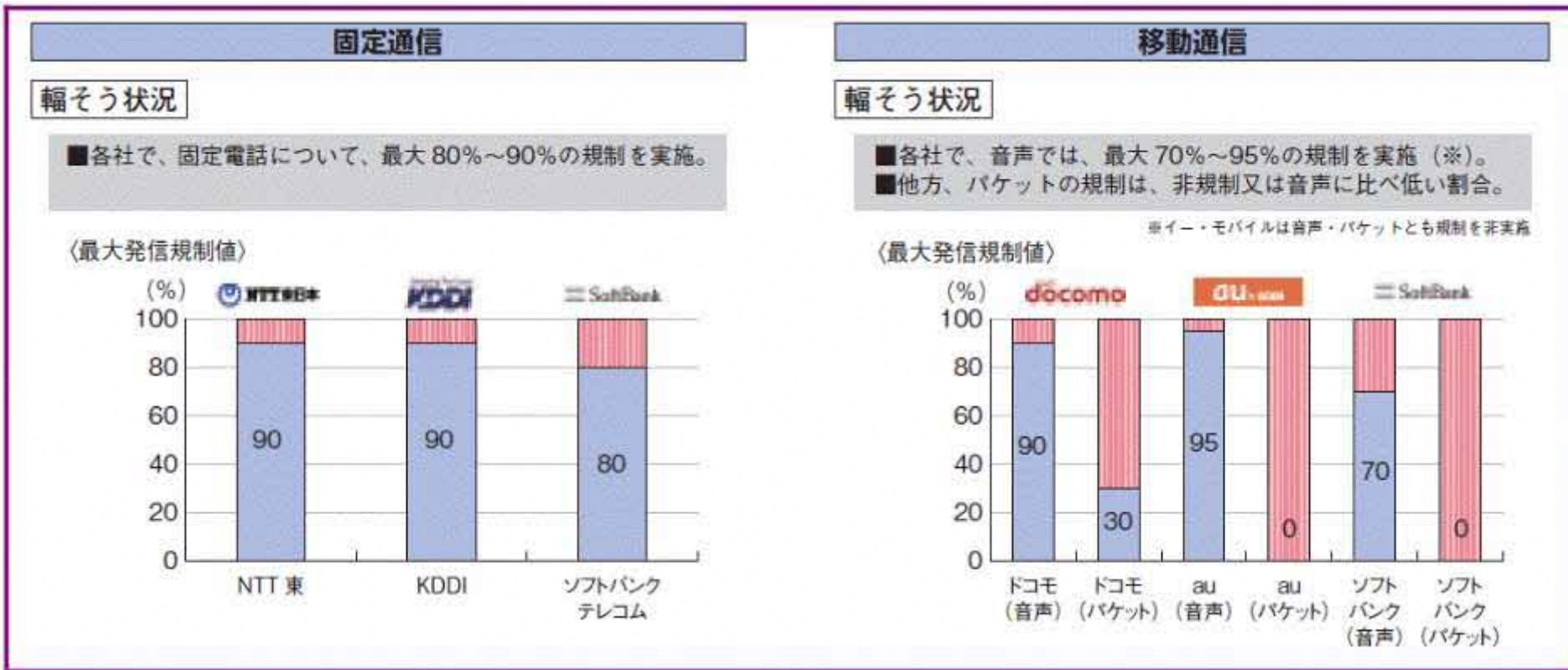
地震が日中に発生した場合は、家族が離ればなれの状態になることも考えられます。日頃から話し合い、情報を共有しておきましょう。

- ✓ 地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく
- ✓ 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく
- ✓ 家族で避難場所や避難経路を確認しておく
- ✓ 非常用品は、置く場所を決めて準備しておく
- ✓ 普段のつき合いを大切にするなど、隣り近所との協力体制を話し合っておく

【地震】備えておこう_③家族で情報を共有する（補足）

・東日本大震災では、多くの人が携帯電話の通話による安否確認を試みましたが、電話が輻輳したため、うまくいきませんでした。
 ・災害発生時、どの手段が使えるかというのは実際に災害が起きてみないとわかりません。安否確認手段を複数準備しておくことが重要です。

●東日本大震災時の輻輳（ふくそう）状況



(出典：平成23年版情報通信白書)

(出典：東京都帰宅困難者対策ハンドブック)

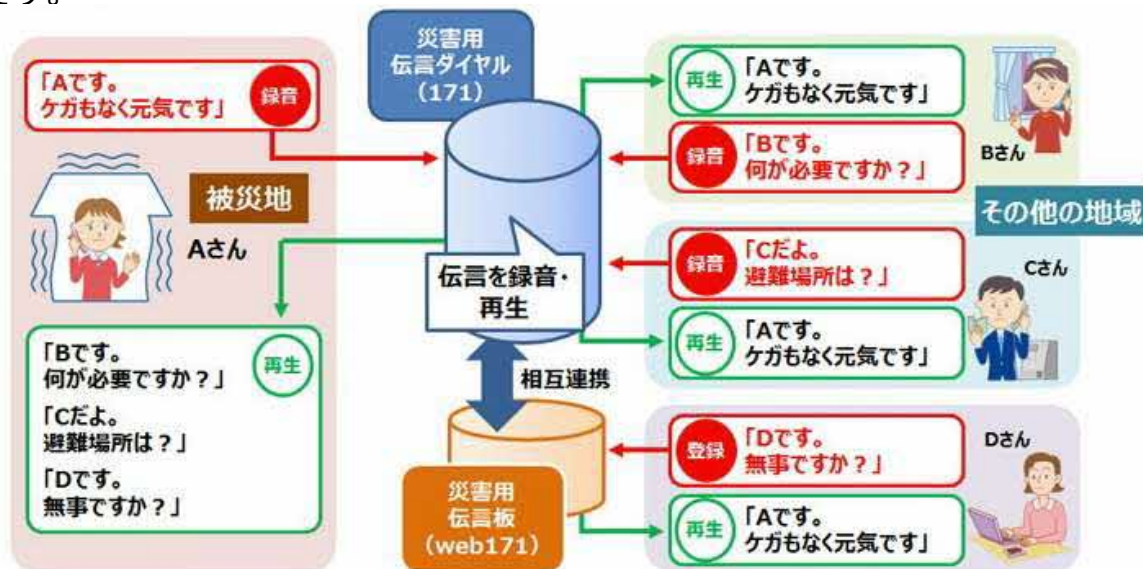
【地震】備えておこう_③家族で情報を共有する（補足）

- ・東日本大震災では、多くの人が携帯電話の通話による安否確認を試みましたが、電話が輻輳したため、うまくいきませんでした。
- ・災害発生時、どの手段が使えるかというのは実際に災害が起きてみないとわかりません。安否確認手段を複数準備しておくことが重要です。

安否確認手段の例示

●災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤル（171）は、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に提供が開始される声の伝言版です。



(出典：NTT東日本ホームページ)

●SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

SNSに自分の状況を投稿することで、SNS上でつながりのある友人などに安否を知らせることができます。LINEやFacebookなど、多様な手段を活用して自分の安否を伝えましょう。



【地震】備えておこう_ ④避難ルートを歩いて確認

備えておこう!



避難ルートを歩いて確認

自治体の防災マップなどで、自分の住む地域の地域危険度を確認したら、自宅や学校、職場周辺を**実際に歩いて**みましょう。ブロック塀や大きな看板など、途中に危険な場所があると、実際にたどり着くことが困難になる場合もあるので、自宅から避難場所に向かう経路を**2~3コースほど想定**しておくといでしょう。

[国土交通省ハザードマップポータルサイト](#)

各市町村が作成したハザードマップへリンクし、地域ごとのさまざまな種類のハザードマップを閲覧することができる

【地震】備えておこう_ ④ 避難ルートを歩いて確認 (補足)

まず、お住いの地域の災害リスクをハザードマップ等で確認しましょう。

災害	調査項目	発行元	コンテンツ	URL	備考
地震	主要地震を調べる (規模・発生確率)	地震本部 (政府地震調査研究推進本部)	長期評価	http://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/lte_summary/	
		防災科学技術研究所	J-SHS 地震ハザードステーション	http://www.jshis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	震度分布を調べる (海溝型地震)	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
	震度分布を調べる (活断層型)	同上	同上	同上	
		防災科学技術研究所	J-SHS 地震ハザードステーション	http://www.jshis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	津波浸水深を調べる	国土交通省	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j0l0u0	
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
国土地理院		2万5千分の1 浸水範囲概況図	http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html	東日本大震災の津波浸水範囲	

【地震】備えておこう_④避難ルートを歩いて確認（補足）

【地震リスクの把握方法①J-SHIS MAP】

「J-SHIS MAP」を使えば、付近の活断層を簡単に抽出できる。

また、主要活断層の一部については、「発生確率」と「震度分布」を簡単に調べることが可能

宮山市中田3-2-1 場所を検索

2013年版(モデル1)

震源断層

- 主要活断層帯
- その他の活断層
- 海溝型地震震源断層
- 海溝型地震発生領域

主要活断層帯地帯トレース

地震活動モデル

地すべり地形

地すべり地形 GIS PDF

※地図を拡大すると表示されます

凡例

透過率

J-SHIS Top

操作方法

解説書

用語集

FAQ

Download

KML

確率論的地震動予測地図 長期間平均ハザード 地震カテゴリー別地図 条件付超過確率 想定地震地図 表層地盤 深部地盤 被災人口

ケース1 計測震度

活断層をクリックすると発生確率と震度分布が表記される

住所を入力することで 拠点を地図上にプロットできる

2013年(モデル1)地震活動モデル 平均ケース

呉羽山断層帯

マグニチュード	6.9(Mw)
確率モデル	BPT
平均発生間隔[年]	4000.0
最新活動時期[年前]	2406.5
30年発生確率[%]	0.29
50年発生確率[%]	0.5

Close

想定地震地図は 主要活断層帯のみ選択可能です。

【地震】備えておこう__④避難ルートを歩いて確認（補足）

- 実際に歩いてみるなど危険箇所を把握し安全なルートを確認しておきましょう。



道幅の狭い道 *



古い建物



ブロック塀 *



河川



大きな看板



かけ・落石のおそれがあるところ

財団法人消防科学総合センター「災害写真データベース」より
転載

- 具体的に自宅から避難所までのマップを描き、危険箇所や避難時に役立つ情報等を書き込むなどしておきましょう。



普段よく行く場所からの避難ルートも考えよう

出典：西宮市政ニュース

【地震】いざというときには①出口の確保と火の始末



いざというときには

出口の確保と火の始末

室内で地震が発生したときは、最優先で自分と家族の命を守ることが大切です。転倒した家具類、飛び散ったガラスの破片などでケガをするおそれがあるので、あわてずに行動しましょう。

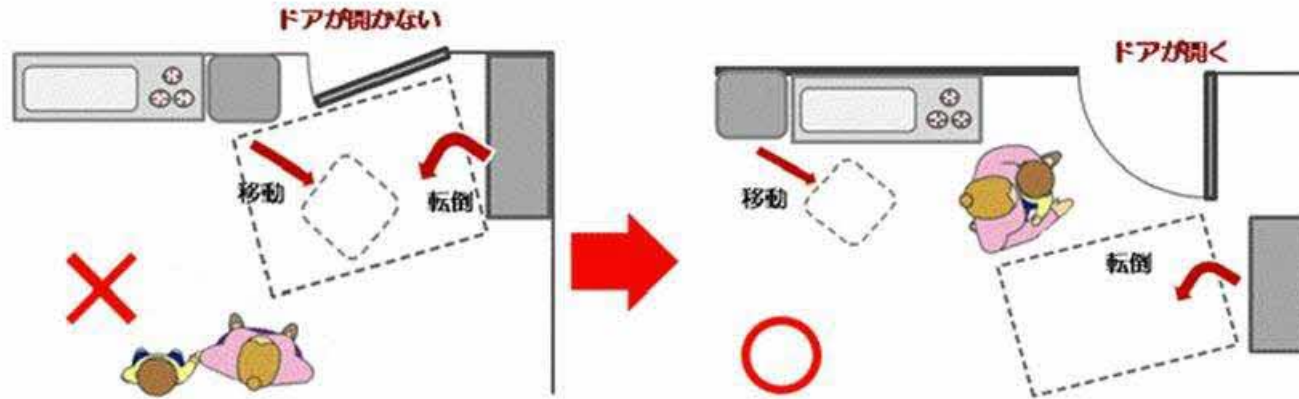
地震が起きたら、まずは…

- ✔ 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る
- ✔ 揺れがおさまった後に、窓や戸を開け、出口を確保する
- ✔ 高層階では、大きくゆっくりとした揺れが数分続くことがある。家具類が、転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険があるので注意する
- ✔ 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末を。出火したときは、落ち着いて消火する

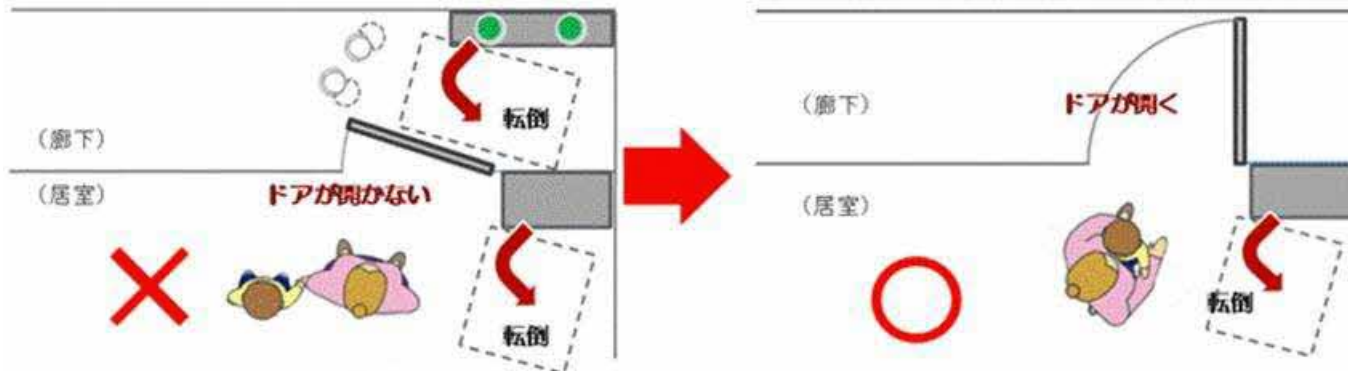
【地震】いざというときには①出口の確保と火の始末（補足）

いざというときの出口確保のため、普段から避難通路、出入り口周辺には転倒しやすい家具類を置かないようにしましょう。

避難通路をふさがない配置にします。



廊下には家具類を置かないようにします。



【地震】いざというときには①出口の確保と火の始末（補足）

地震が起こった直後、まず何をすべきか？

夕食の直前に大きな揺れを観測！！
地震発生の瞬間にするべきことは？

A すぐに火を
消す



B テーブルの下
にもぐる



【地震】いざというときには①出口の確保と火の始末（補足）

- ◆ 地震が発生した時にまず行うべきことは、火災を食い止めることではありません。まずは、自らのいのちを最優先に考えた行動をとることが重要です。
- ◆ 大きな揺れの際の消火や火を始末しようとする行動は、火傷を負うことや、もっと深刻な事態を引き起こすことにも繋がりがねません。目前に火があり、消火器などの有効な手段によって簡単に消火が可能な場合に限り、小さい揺れのうちに火の始末をするようにしてください。
- ◆ また、**都市ガスやLPガスには、現在は震度5弱以上の揺れでガスを遮断する装置が必ず設置されています**ので、心配する必要はありません。

【地震】いざというときには②慌てて飛び出ない



いざというときには

慌てて飛び出ない

揺れがおさまっても、すぐに外に飛び出すのはやめましょう。まずは落ち着いて、テレビやラジオ、携帯電話やスマートフォン、ワンセグやネット通信機能など、さまざまな手段を使って正確な情報の把握に努めましょう。

揺れがおさまったら…

- ✓ 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する
- ✓ ケガをしないように底の厚いスリッパなどで足を保護して移動する
- ✓ 瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくる危険があるので、すぐに外に飛び出さない
- ✓ ラジオやテレビ、インターネット、消防署、行政などから正しい情報を得る
- ✓ 避難が必要なときには、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めてから避難する
- ✓ 余震や停電でエレベーターが停止するおそれがあるので、必ず階段を使う

【地震】いざというときには②慌てて飛び出ない（補足）

災害時に自治体等から発信される情報を正しく収集しましょう。（以下は東京都の例）

（1）東京都防災twitter（東京都防災 [@tokyo_bousai](https://twitter.com/tokyo_bousai)）

【概要】

- ・東京都総合防災部の公式アカウント。平常時は防災に関する報道発表や災害に対する備え、災害時は都内の被害情報や一時滞在施設の開設情報などがツイートされる。



（2）東京都防災アプリ

【概要】

- ・いつも・いざというときにも役に立つ、東京都公式の防災です。「あそぶ」「まなぶ」「つかう」をコンセプトに、楽しみながら防災の基礎知識を得られるなど、災害時に役立つコンテンツが搭載されています。
- ・「防災マップ」機能では、現在地やユーザーが選択した場所の危険度を順位で確認できる地域危険度マップのほか、防災施設や災害時帰宅支援ステーションを掲載。オフライン時でも現在地を表示し、目的地までの移動を補助します。

出典：東京都防災ホームページ

【地域危険度マップ】



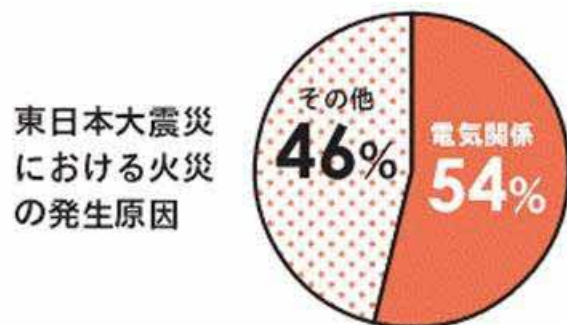
【防災マップ】



【地震】いざというときには②慌てて飛び出ない（補足）

感震ブレーカーについて

- 地震による火災の過半数は電気が原因で発生しています。

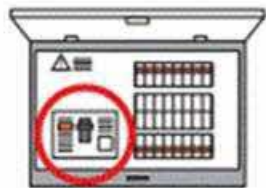


- 地震の揺れに伴う電気機器からの出火
- 停電が復旧したときに発生する火災

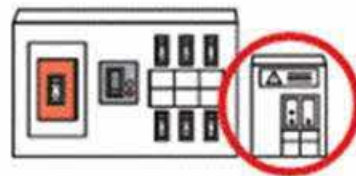
- 電気火災防止対策 = 感震ブレーカーが有効

「感震ブレーカー」は、地震発生時に設定値以上の揺れを感知したときに、ブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。感震ブレーカーの設置は、不在時やブレーカーを切って避難する余裕がない場合に電気火災を防止する有効な手段です。

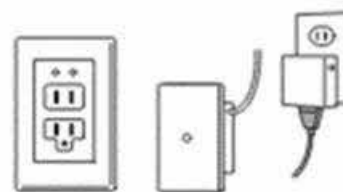
主な感震ブレーカーの種類



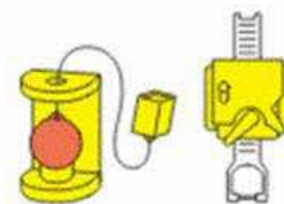
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ



簡易タイプ

【地震】いざというときには②慌てて飛び出ない（補足）

エレベーターの閉じ込めについて

●エレベーター内の閉じ込め発生件数

地震	閉じ込め件数	備考
東日本大震災	210件	閉じ込めから救助まで、最大で9時間以上かかったケースあり
熊本地震	54件	—
大阪北部地震	346件	東日本、熊本地震を大きく上回る件数
（首都直下地震）	（1万7400人）	—
（南海トラフ地震）	（2万3000人）	—

●閉じ込め対策のポイント

①“救助を待つ”が原則

- ・万が一閉じ込められた場合は、まずすべての行き先ボタンを押してみて、それでも動かない場合は、非常ボタン（インターホン）を押して外部に通報し、救助を待つことが原則である。
- ・無理に脱出を試みることは非常に危険。

②窒息あるいは落下の危険は低い

- ・一般的にエレベーターには換気ファン用の吹き出し穴などがあり、閉じ込めが発生しても窒息することはない。
- ・基本的に、3本～8本の強靱なロープでつながれている。また万が一すべてが破断したとしても「非常止め装置」をはじめとするいくつかの安全装置を備えているため、落下することはない。

【地震】いざというときには③塀や建物から離れる



いざというときには

塀や建物から離れる

屋外で地震の揺れを感じたときも、あわてずにまずは身の安全を確保してください。安全を確認したら、転倒や落下、倒壊のおそれがある所から速やかに退避するようにしましょう。

屋外にいるときは…

- ✔ ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒などに注意し、これらのそばから離れる
- ✔ ビルの壁、看板や割れた窓ガラスなどの落下に注意し、建物から離れる
- ✔ 山やがけ付近にいるときは、落石やがけ崩れに注意し、できるだけその場から離れる
- ✔ 沿岸部で大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する

【地震】いざというときには③塀や建物から離れる（補足）

ブロック塀の倒壊映像（20秒）



②【台風】はじめに

台風

7月から10月にかけては日本に接近・上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風、高潮などをもたらします。これらの災害は単独で発生するだけでなく、複合して大きな被害となることがあるので注意が必要です。台風が発生して日本に近づくと、気象庁は台風などの気象情報を発表し、新聞やテレビ・ラジオが一斉に台風の動きを伝えるので、それらの情報を有効に利用しましょう。



【台風】はじめに__補足資料

政府インターネットテレビ「避難情報がよりわかりやすく！令和3年5月から「警戒レベル4までに必ず避難！」」（3分）

新たな避難情報の動画等

政府インターネットテレビ

5	緊急安全確保 ---〈警戒レベル4までに必ず避難!〉---
4	避難指示
3	高齢者等避難
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意報 (気象庁)

全ての方
高齢者や
障害のある方
危険な場所から
避難

※画像はイメージ

➤ [避難情報がよりわかりやすく！令和3年5月から「警戒レベル4までに必ず避難！」](https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/)

↑視聴はこちらから

(リンク) 内閣府HP https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/

【台風】1. 台風が接近すると



台風が接近すると

気象庁は台風のおおよその勢力を示す目安として、風速（10分間平均）をもとに台風の「大きさ」と「強さ」を表現します。大きさには「大型（大きい）」「超大型（非常に大きい）」、強さには「強い」「非常に強い」「猛烈な」という区分があり^(※)、台風に関する情報の中では台風の大きさと強さを組み合わせて、「大型で強い台風」のように呼びます。

(※) 区分の基準：気象庁 台風の大きさと強さ

険しい山や急流が多い日本では、台風によって、川の氾濫や土石流、がけ崩れ、地すべりなどの土砂災害が発生しやすくなります。また、台風の接近に伴う暴風により、屋根の一部や看板が飛ばされたり、それらの飛来物によって窓ガラスが割れるなどの被害に見舞われることがあります。さらに、豪雨による家屋の浸水、破損部分からの水漏れ、室内の家具・電化製品が使用できなくなるなど、日常生活に大きな影響を与える可能性があります。

【台風】1. 台風が接近すると__補足資料

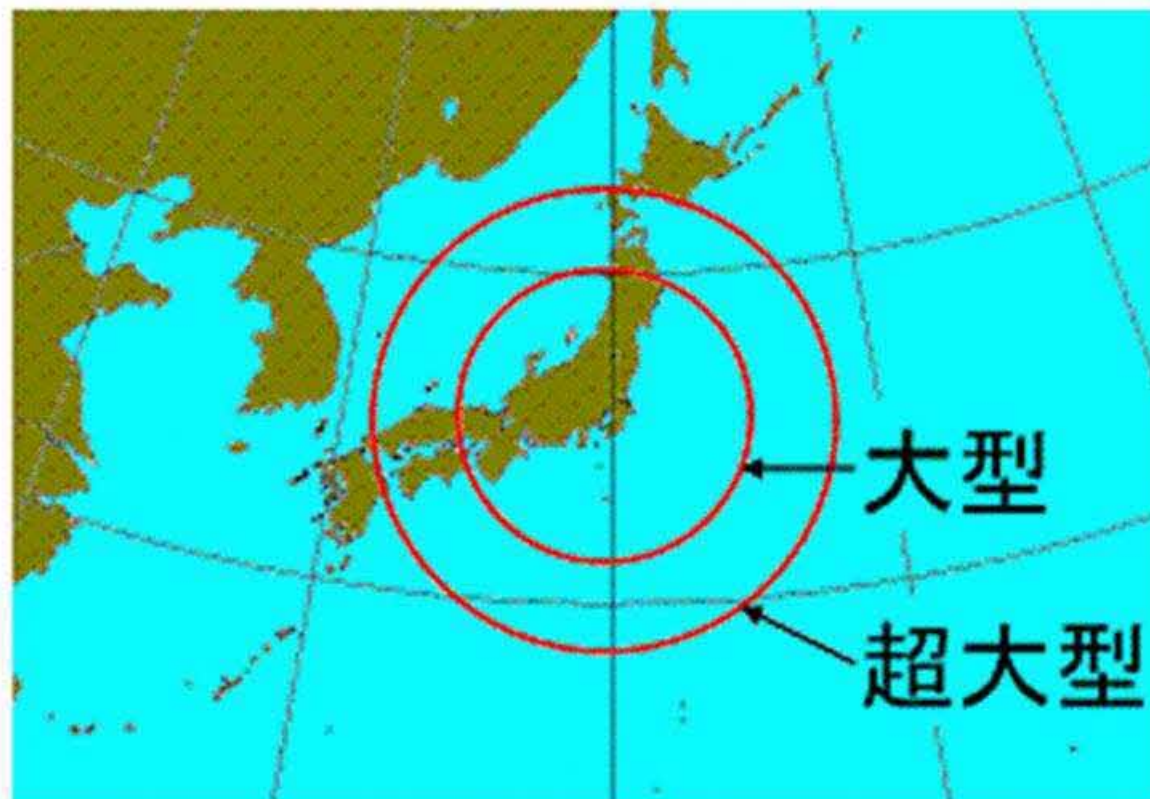
台風情報の見方は、以下のとおり。



【台風】1. 台風が接近すると__補足資料

台風の大きさとは、

「大きさ」は強風域（風速15m/s以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲）の半径を言います。大型は、500km以上～800km未満、超大型は、800km以上をいいます。



【台風】1. 台風が接近すると__補足資料

台風の強さとは、

「強さ」は最大風速で区分しています。さらに、風速25m/s以上の風が吹いているか吹く可能性がある範囲を暴風域と呼びます。

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s (64ノット) 以上～44m/s (85ノット) 未満
非常に強い	44m/s (85ノット) 以上～54m/s (105ノット) 未満
猛烈な	54m/s (105ノット) 以上

(リンク) 気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/typhoon/1-3.html>

【台風】1. 台風が接近すると__補足資料

風の強さのイメージは、表のとおり。この表では「人への影響」と「屋外・樹木の様子」で説明しています。

風の強さと吹き方

平均風速(m/s) おおよその時速	10~15 ~約50km/h	15~20 ~約70km/h	20~25 ~約90km/h	25~30 ~約110km/h	30~35 ~約125km/h	35~40 ~約140km/h	40~ 約140km/h~
風の強さ(予報用語)	やや強い風		強い風	非常に強い風		猛烈な風	
速さの目安	一般道路の自動車		高速道路の自動車		特急電車		
人への影響	 風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	 風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。	 何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	 屋外での行動はきわめて危険。			
屋外・樹木の様子	 樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。	 電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	 細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始める。看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	 多くの樹木が倒れる。電柱や街灯で倒れるものがある。ブロック壁で倒壊するものがある。			
おおよその瞬間風速(m/s)	20		30	40	50	60	

【台風】1. 台風が接近すると__補足資料

風の強さのイメージは、表のとおり。この表では「人走行中の車」と「建造物」で説明しています。

平均風速 (m/s) おおよその時速	10~15 ~約50km/h	15~20 ~約70km/h	20~25 ~約90km/h	25~30 ~約110km/h	30~35 ~約125km/h	35~40 ~約140km/h	40~ 約140km/h~	
風の強さ(予報用語)	やや強い風		強い風		非常に強い風		猛烈な風	
速さの目安	一般道路の自動車		高速道路の自動車		特急電車			
走行中の車	 <p>道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。</p>	 <p>高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。</p>	 <p>通常で運転するのが困難になる。</p>	 <p>走行中のトラックが横転する。</p>				
建造物	 <p>礎(とい)が揺れ始める。</p>	 <p>屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。</p>	 <p>屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある。固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスのフィルム(被覆材)が広範囲に破れる。</p>	 <p>固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれる。養生の不十分な仮設足場が崩落する。</p>	 <p>外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出するものがある。</p>	 <p>住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。</p>		
おおよその瞬間風速(m/s)	20		30		40		50	60

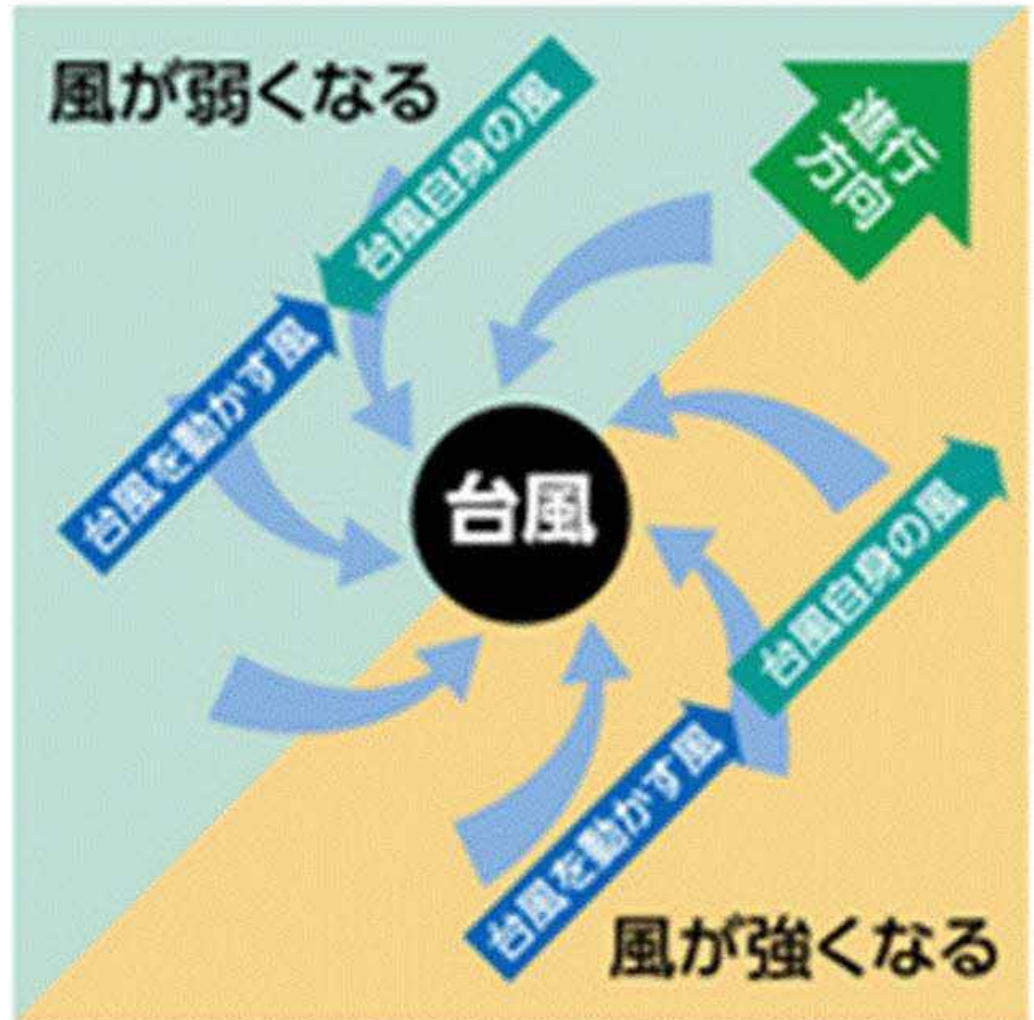
【台風】1. 台風が接近すると__補足資料

台風豆知識： 台風による風の吹き方には一定の方向があります。

台風による風の強さと吹き方

台風は巨大な空気の渦巻きになっており、地上付近では上から見て反時計回りに強い風が吹き込んでいます。

そのため、進行方向に向かって右の半円では、台風自身の風と台風を移動させる周りの風が同じ方向に吹くため風が強くなります。逆に左の半円では台風自身の風が逆になるのので、右の半円に比べると風速がいくぶん小さくなります。



(リンク)おかやま防災ポータル <https://www.bousai.pref.okayama.jp/?p=note/note011#subhead1>

【台風】2. 備えておこう①家屋の補強や掃除を行う

備えておこう!

家屋の補強や掃除を行う

台風が近づいているというニュースや気象情報を見たり聞いたりしたら、家の外と中の備えをもう一度確認しましょう。

家の外の備え

- ✔ 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する
- ✔ 側溝や排水口は掃除して水はけをよくしておく
- ✔ 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ格納する

家の中の備え

- ✔ 非常用品の確認
懐中電灯、携帯用ラジオ（乾電池）、救急薬品、衣類、非常用食品、携帯ボンベ式コンロ、貴重品など
- ✔ 室内からの安全対策
飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく
- ✔ 水の確保
断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなどして生活用水を確保する

【台風】2. 備えておこう①家屋の補強や掃除を行う__補足資料

家の外と家の中の備えのポイントは以下のとおりです。

家の周りの再点検をする

庭木に支柱をたてたり、塀を補強しましょう。
家の周りにあるもので強風などによって飛ばされる可能性のあるものは、室内にしまうか、しまうことが出来ない場合は飛ばされないようにしっかり固定しましょう。

窓や雨戸を補強する

ガラスのひび割れや窓枠のガタつきがないか調べ、窓にテープを貼るなどして補強しましょう。さらに、万が一、窓ガラスが割れた時のために、カーテン等を閉めておくといいでしょう。



床上の浸水対策をする

家財や家電などは浸水の被害を受けないように、**高所や二階に移動**させましょう。電気のコンセントは漏電、ショート、感電などが発生する可能性があります。**コンセントは抜き、低い位置にあるものは高所へ移動**させましょう。

ライフライン断絶に備える

断水に備えて**飲料水を確保**しましょう。**浴槽に水を張る**などしてトイレなどの**生活用水を確保**しましょう。避難に備え、**非常持ち出し品を準備**しましょう。



【台風】2. 備えておこう①家屋の補強や掃除を行う__補足資料

備蓄する際のポイントは、次のとおりです。



備えておこう!

最低限「3日分^(※)」が目安

普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。飲料水は3日分（1人1日3リットルが目安）、非常食も3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなどを人数分用意します。その他トイレトーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなどの生活用品も用意します。また飲料水とは別に、トイレを流したりするための生活用水も必要になります。日頃から、水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつも張っておく、などの備えを心がけましょう。

(※) 大規模災害発生時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

必要なものはリュックサックに

自宅が被災したときは、安全な場所に避難し避難生活を送ることになるかもしれません。非常時に持ち出すべきものはあらかじめリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

【台風】2. 備えておこう①家屋の補強や掃除を行う__補足資料

非常用持ち出しバックの内容例は、以下のとおり。

飲料水	衣類
食料品 カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど	下着
貴重品 預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など	毛布、タオル
救急用品 ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など	携帯ラジオ、予備電池
ヘルメット、防災ずきん	携帯電話の充電器
マスク	使い捨てカイロ
軍手	ウェットティッシュ
懐中電灯	洗面用具
	携帯トイレ

出典：国土交通省「防災の準備」
「災害に備えるための備えへこの冊子は準備しておこう」

食品は缶詰など、加熱しなくても食べられるものを用意します。ミネラルやビタミン不足を補うことができる野菜ジュースなどもおすすめです。

さらに乳幼児や高齢者がいるご家庭は、おむつやミルク、常備薬なども用意しておきましょう。大型ビニール袋は、給水袋やトイレの袋としても重宝します。備えるべき品目は、生活スタイルによってさまざまです。自分たちに必要なものは何なのか考えて、備えておきましょう。

定期的に備蓄品をチェック

せっかく備蓄をしても、「いざというときに電池がなくなったり」「賞味期限が切れていたり」してしまうことがないよう、定期的にチェックしましょう。

「日常備蓄」のすすめ

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ普段の生活の中で利用している食品などを多めに備えるようにしましょう。「普段使わないものを用意する特別な準備」をすると、管理が難しくなったり、なかなか続かない場合がありますが、「いつも使っている食料品や生活必需品を少し多めに購入しておく」のであれば、日常生活の延長線上で比較的容易に備蓄を続けていくことができます。

【台風】2. 備えておこう②危険箇所や避難場所をチェックする

危険箇所や避難場所をチェックする

大雨のときには身の回りのどのような場所に危険性が潜んでいるのかを、[洪水ハザードマップ・土砂災害危険箇所マップ](#)などであらかじめ確認しておきましょう。

- ✓ 途中で氾濫する可能性のある河川や、浸水する可能性のあるくぼ地などがないか
- ✓ もしもそうした場所があったら、他にどのような経路を通過してどこに避難すべきか
- ✓ 可能であれば家族で実際に歩いてみて、周囲の安全を確認しておく

[国土交通省ハザードマップポータルサイト](#)

【台風】2. 備えておこう②危険個所や避難場所をチェックする__補足資料

国土交通省ハザードマップポータルサイトの画面は、以下のとおり。

ハザードマップポータルサイト

～身のまわりの災害リスクを調べる～

[使い方](#) [利用規約](#) [よくある質問](#) [関連情報](#)

重ねるハザードマップ

～災害リスク情報などを地図に重ねて表示～

洪水・土砂災害・高潮・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

[地図を見る](#)

わがまちハザードマップ

～地域のハザードマップを入手する～

各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます。

[地図で選ぶ](#)

場所を入力

例：茨城県つくば市北郷1 / 国土地理院

表示する情報を選ぶ

 <p>洪水(想定最大規模)</p>	 <p>土砂災害</p>	 <p>高潮(想定最大規模)</p>
 <p>津波(想定最大規模)</p>	 <p>道路防災情報</p>	 <p>地形分類</p>

過去の代表的な災害事例をみる

まちを選ぶ

都道府県 市区町村



【台風】2. 備えておこう②危険個所や避難場所をチェックする__補足資料

【地震リスクの把握方法③重ねるハザードマップ】
・洪水・土砂災害・津波のリスク情報、道路防災情報、土地の特徴・成り立ちなどを地図や写真に自由に重ねて表示できます。

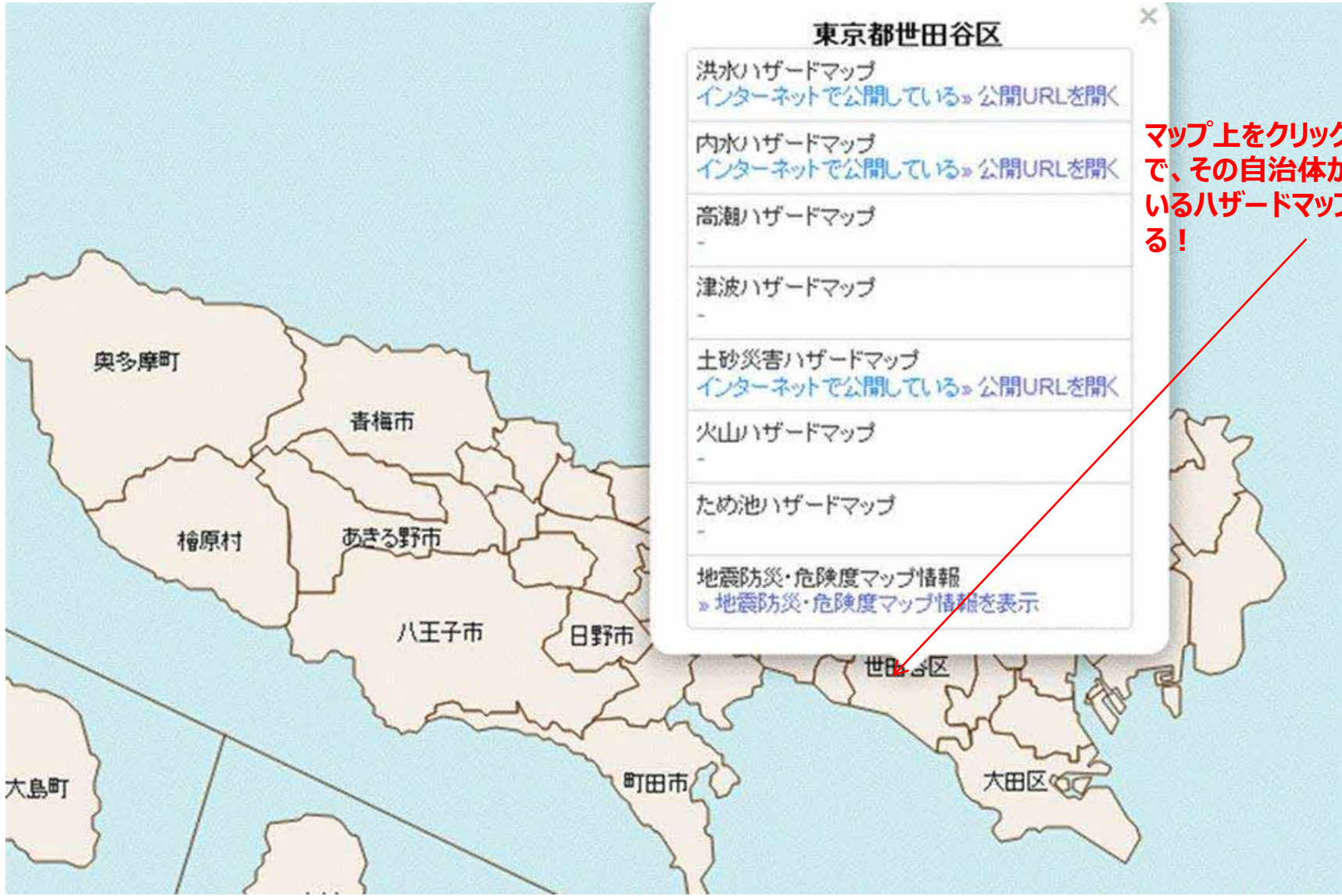


指定したエリアのマップ上にハザードマップの情報を重ねて表示できるため、一目でリスクの有無がわかる！

(出典：重ねるハザードマップ)

【台風】2. 備えておこう②危険個所や避難場所をチェックする__補足資料

【地震リスクの把握方法②わがまちハザードマップ】
・各市町村が作成したハザードマップへリンクします。地域ごとの様々な種類のハザードマップを閲覧できます



マップ上をクリックするだけで、その自治体が公表しているハザードマップへ飛べる！

(出典：わがまちハザードマップ)

【台風】2. 備えておこう②危険個所や避難場所をチェックする__補足資料

避難場所は、国土地理院のホームページなどから検索することができます。

避難場所の検索方法（地理院地図）

The screenshot shows the GSI map interface with a search for '皇居' (Imperial Palace). The left sidebar displays a list of disaster types with corresponding evacuation site icons:

- 指定緊急避難場所（洪水）
- 指定緊急避難場所（崖崩れ、土石流及び地滑り）
- 指定緊急避難場所（高潮）
- 指定緊急避難場所（地震）
- 指定緊急避難場所（津波）
- 指定緊急避難場所（大規模な火事）
- 指定緊急避難場所（内水氾濫）
- 指定緊急避難場所（火山現象）

The main map area shows the Imperial Palace grounds in Chiyoda-ku, Tokyo, with various evacuation sites marked with green tree icons. The map includes labels for '千代田区' (Chiyoda-ku), '四ツ谷駅' (Yotsuya Station), and '皇居' (Imperial Palace).

（出典）国土地理院ホームページ <https://maps.gsi.go.jp/help/intro/school/hinankeiro.html#link01>

【台風】2. 備えておこう②危険個所や避難場所をチェックする__補足資料

避難場所と避難所の違いは以下のとおり。災害の種類（地震、水災、火災など）によって、異なる避難場所、避難所が指定されている可能性があるため、注意しましょう！

指定緊急避難場所とは、

大きな公園や広場などで、居住者等が災害から命を守るために緊急的に避難する施設又は場所（基本的に飲料水や食料などの備蓄はされていない）をいいます。

【指定緊急避難場所のイメージ】



土砂災害に対する
指定緊急避難場所の例

対象とする災害に
対し、安全な構造で
ある堅牢な建築物



地震、大規模な火事等に対する
指定緊急避難場所の例

対象とする災害の
危険が及ばない学
校のグラウンド・駐
車場等

指定避難所とは、

小・中学校などで、災害により家に戻れなくなった方が一定の期間滞在するための施設をいいます。

【指定避難所のイメージ】



学校・体育館
等の施設



公民館等の
公共施設

(リンク) 国土地理院ホームページ
<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/hinanbasho.html>

【台風】2. 備えておこう③土のう・水のうを用意する

土のう・水のうを用意する

浸水から家を守るために効果的なのが「土のう」です。いざというときにすぐに使えるように、地域で準備するなどの工夫をしましょう。

土のうがない場合は、身近なものを活用した「水のう」を作りましょう。

- ✓ ゴミ袋やビニール袋に水を入れて「簡易水のう」を作る。段ボール箱に入れるとさらに強度が増す
- ✓ 土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み、玄関の止水に利用する
- ✓ 10～20リットルのポリタンクに水を入れ、レジャーシートで巻き込み連結し、玄関の止水に利用する

【台風】2. 備えておこう③土のう・水のうを用意する__補足資料

土のう・水のうの作り方は、以下のとおり。

出入口1mあたりに必要な土のうの数は、積み方、大きさ（中に入っている砂の量）によるが、1段積み（10cm程度高）であれば、5kgで5～6袋、10kgでは3～4袋が必要。土のうの積み方のポイントは以下の通り。

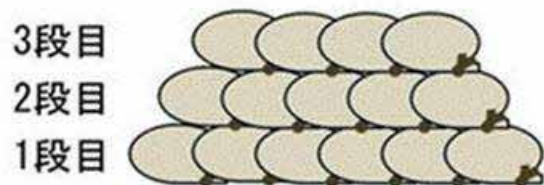
- 縛り口を下流にして置く



- 上流側から下流側へ置いていき、縛り口を次の土のうで隠す



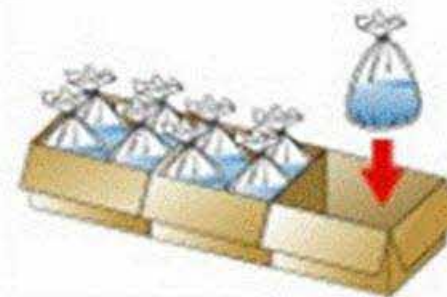
- 2段目、3段目の土のうは、半分ずらして積む



（出典：世田谷区ホームページ、
URL:<http://www.city.setagaya.lg.jp/kurashi/104/141/15611/d00133548.html>）

【ご参考】水のうの作り方

40リットル程度の容量のごみ袋を二重にして中に半分程度の水を入れて閉める。ごみ袋の強度に不安があれば重ねる枚数を増やす(買い物用のポリ袋でも代用できる)。作成した水のうを段ボール箱に詰め、レジャーシートなどで包む。出入口などに隙間のできないように並べる。



（出典：平塚市ホームページ、
URL:http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/bosai/page-c_02782.html）

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する

防災気象情報を確認する

台風は地震災害のように突然襲ってくるものではなく、いつ、どこで、どのくらいの規模のものがやってくるのかなどを、ある程度予測することができます。私たちが早めの防災行動をとれるよう、気象庁は台風に関する防災気象情報を随時提供しています。

台風によって大雨や強風、高波などの激しい現象が予想される時は、気象庁では「警報級の可能性」や「気象情報」を発表し、その後の危険度の高まりに応じて「注意報」、「警報」、「特別警報」を段階的に発表しています。気象警報・注意報は、原則として市区町村ごとに発表されるので、最新の情報を確認するようにしてください。

気象庁ウェブサイト

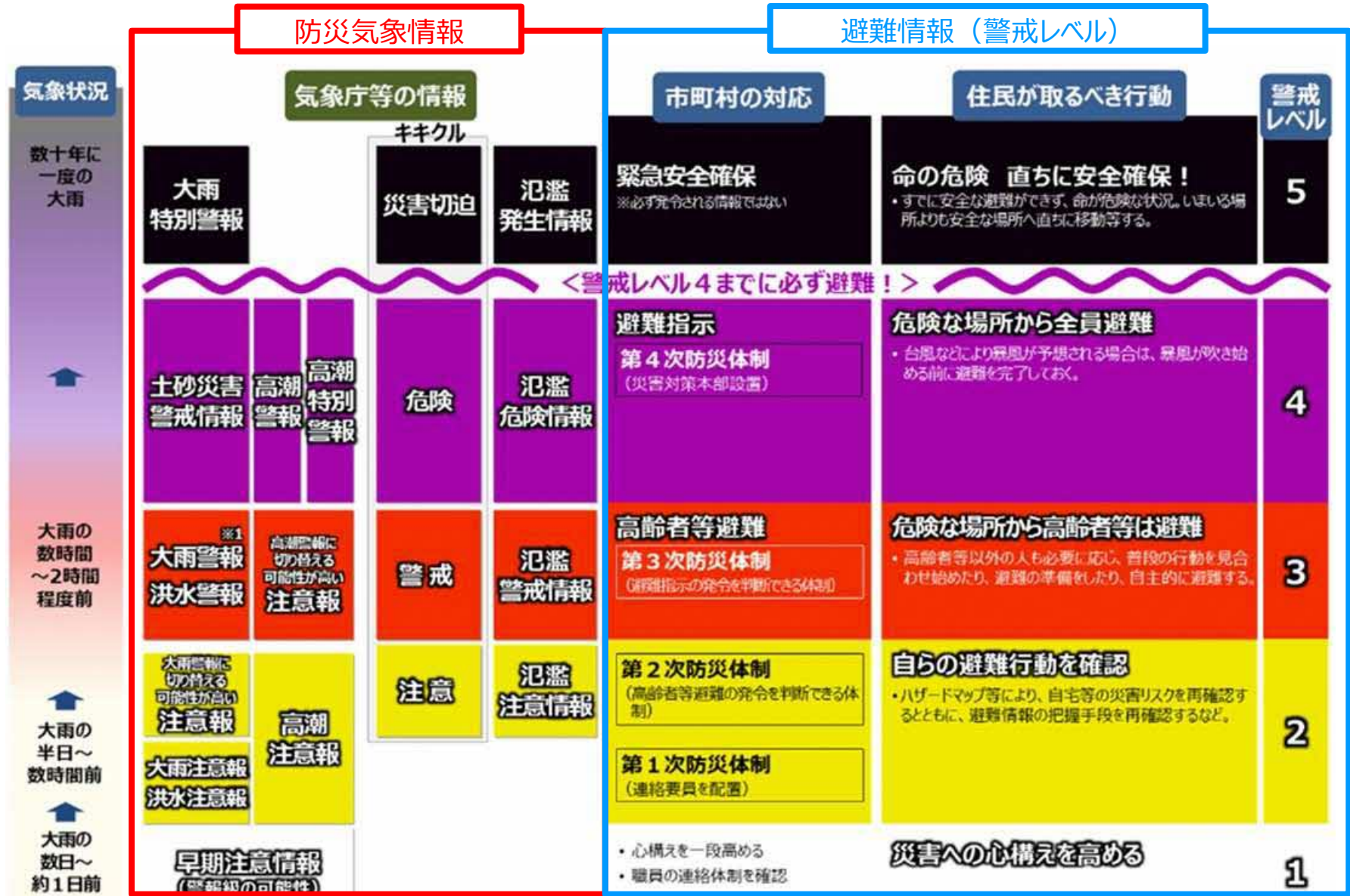
[台風情報](#)

[気象警報・注意報](#)

[危険度分布](#)

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する__補足資料

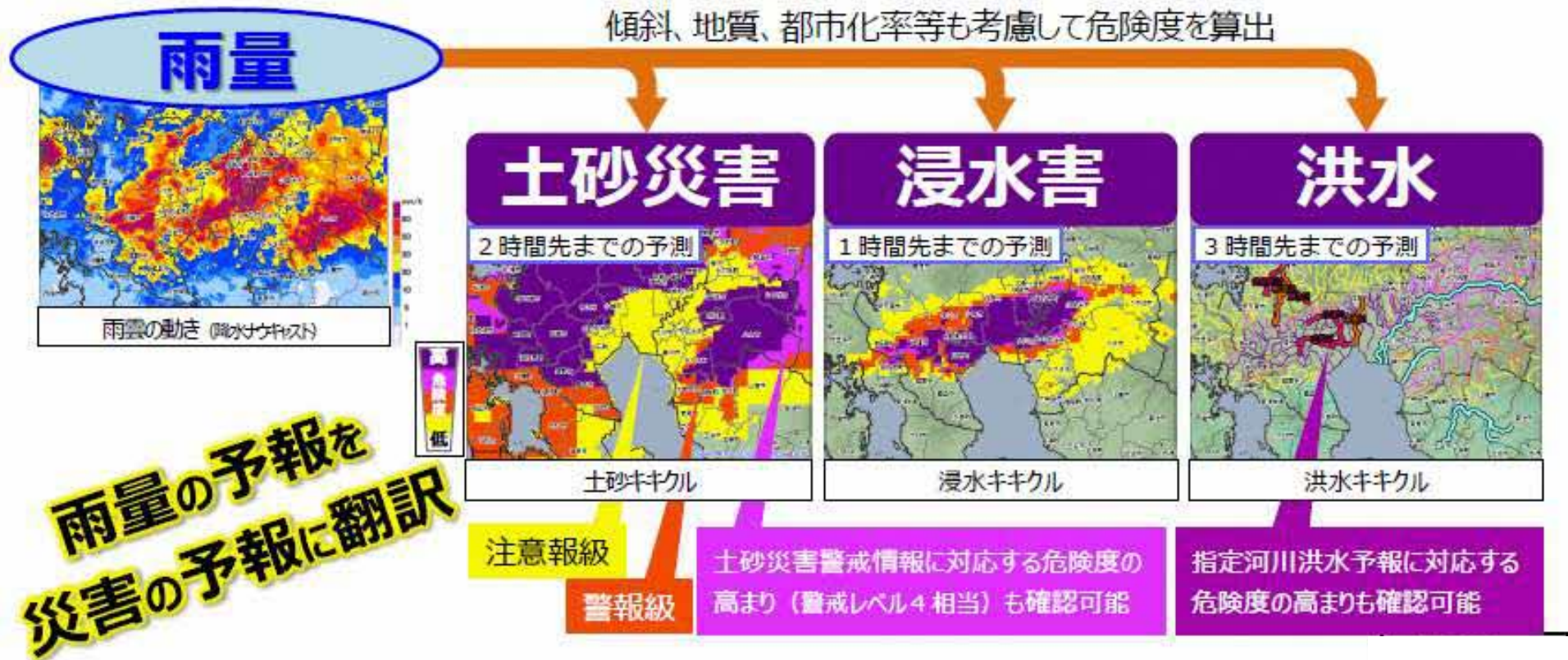
防災気象情報と避難情報との関係は以下のとおり。



出典：気象庁「段階的に発表される防災気象情報と対応する行動」を基にMS&ADインターリスク総研にて作成

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する__補足資料

- ・「キキクル（危険度分布）」は大雨や洪水警報が発表されるような重大な災害が発生するおそれのある状況で、自らの地域の危険度の高まりを把握するための情報です。
- ・速やかに避難が必要とされる警戒レベル4に相当する「危険（紫）」などへの危険度の高まりをメールやスマホアプリでプッシュ通知するサービスを気象庁の協力のもとで民間事業者が提供しています。




出典：気象庁 キキクル 2021年3月17日報道発表資料

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する__補足資料

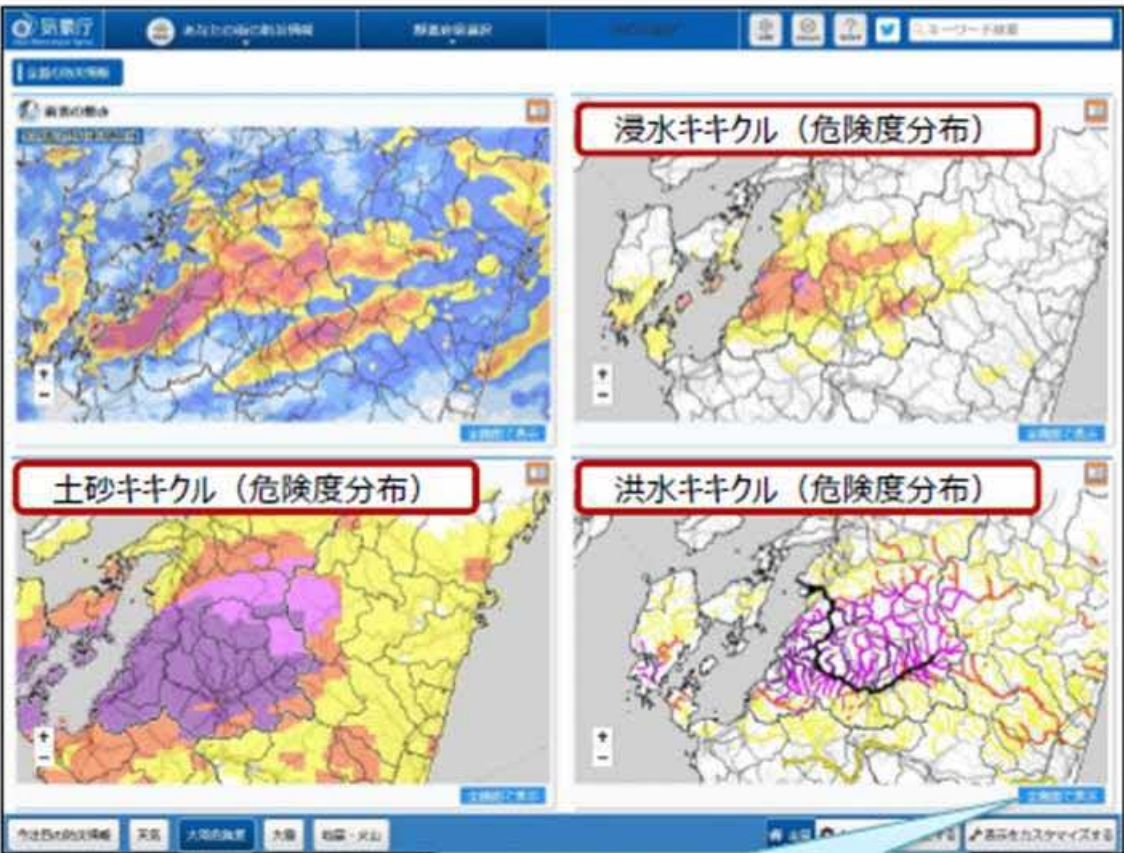

「キキクル（危険度分布）」の確認方法は以下のとおりです。

気象庁ホームページ
(トップページ)



危険度分布
(キキクル)

キキクル バナー



浸水キキクル (危険度分布)

土砂キキクル (危険度分布)

洪水キキクル (危険度分布)

大雨キキクル (危険度分布)

詳細版はこちらをクリック

出典：気象庁 キキクル 2021年3月17日報道発表資料

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する__補足資料

「キキクル（危険度分布）」の通知サービスは以下のとおりです。

- ▶ 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス*1を実施しております。
- ▶ この通知は市町村からの避難勧告等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難勧告等を確認するとともに、避難勧告等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断*2・3に活用いただけます。



※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html)

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、川や崖から少しでも離れた、近くの頑丈な建物の上層階に避難するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する__補足資料

水中歩行は以下のとおり危険です。下の様な状況とならないよう、必ず浸水前に避難するよう強調してください。

はき物	歩ける深さ	足元に注意
		
<p>くつは底のしっかりした運動靴などで、ながぐつは水が入ると歩きにくくなります。</p>	<p>歩ける深さは、男性で約70cm、女性で約50cm。腰の高さになったら、無理せず高いところで助けを待つようにしましょう。</p>	<p>水面下にはどんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒をつえにしてくぼみや溝などが確認して、ゆっくり歩くことが必要です。</p>



ドアの外に30cm水がたまると、
ドアは開かなくなります！
⇒家の周りが水に浸かる前に
安全な場所に逃げましょう！

(リンク)

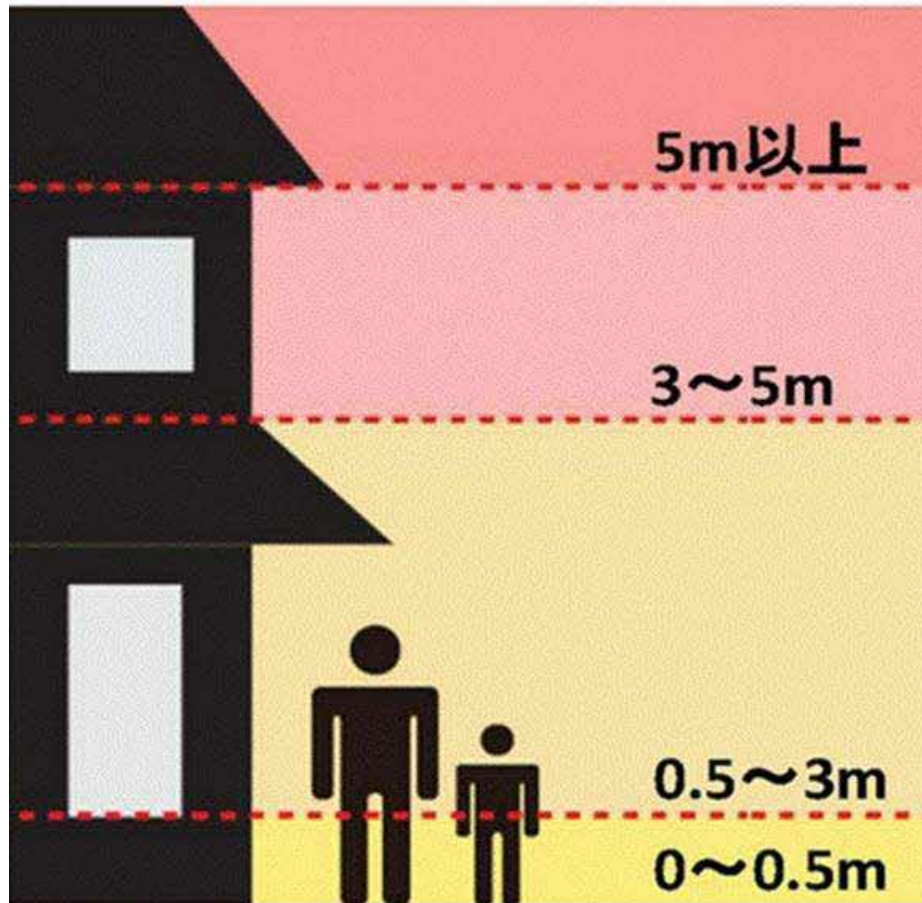
鳥取市南部町HP

http://www.town.nanbu.tottori.jp/system/site/upload/live/1744/atc_1410448327.pdf

国土交通省ホームページ 防災カードゲーム http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai01_tk_000005.html

【台風】2. 備えておこう④防災気象情報を確認する__補足資料

水災ハザードマップには、自分の住む場所の浸水深が示されています。避難行動や出水時の心構えに役立ててください。



※10m以上がある場合は色を変えて表示

避難行動や出水時の心構えとの対応が分かりやすいように浸水深の区分けの境界(5.0m、3.0 m、0.5 m)が決められています。

- 5.0m: 建物2階が水没。3階床面が浸水する可能性有り
- 3.0m: 建物2階床面が浸水
- 0.5m: 建物1階床上浸水(氾濫時は0.5mの水深で大人でも避難が困難)

【台風】3. いざというときには①家財を2階などに移動させる

いざというときには

家財を2階などに移動させる

浸水や洪水の可能性が考えられる場合には、家財など大切なものはなるべく高いところに上げておきましょう。

✔ 書類・家電製品・衣類など

重要書類や高価な家電製品、数日分の衣類は、2階や高い位置に移動させておきましょう

✔ 棚の設置

あらかじめ家のさまざまな場所に厚板で丈夫な棚を作っておくと、いざというときに大事なものの浸水を防ぐことができるので便利です

✔ 畳

床上・床下浸水に備え、畳を外し高い場所へ移動します。食卓の上に乗せるだけでも、畳への浸水を防げる場合があります

✔ 自家用車

早めに安全な高い場所へ移動させ、移動が困難な場合は、縁石にタイヤを載せるなどしてエンジン部分を高くし、浸水を防ぎましょう

【台風】3. いざというときには②ニュースや気象情報をチェックする

ニュースや気象情報をチェックする

ニュースや気象情報をこまめにチェックして最新の情報を受け取るとともに、雨が降り出したら「[土砂災害警戒情報](#)」などにも注意が必要です。危険を感じたり、市区町村長からの[避難指示](#)があった場合は、あわてず速やかに避難しましょう。

- ✔ 避難の前には、必ず火の始末をする
- ✔ 避難の際の持ち物は最小限にして背中に背負うなど、両手が自由に使えるようにしておく
- ✔ 忘れ物をした場合でも、絶対に取りに戻らない
- ✔ 暴風や浸水で避難場所までの移動が危険な場合は、家の中でできるだけ安全な場所（崖から離れた2階の部屋など）で待機したり、近隣のできるだけ頑丈な建物に避難することも検討する

[気象庁 土砂災害警戒情報](#)

【台風】3. いざというときには③車での避難に注意

車での避難に注意

浸水深^{〔※1〕}が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障を来し、避難行動が困難になります。30cmを超えると、エンジンが停止することもあります。特にアンダーパス^{〔※2〕}や、高低差のある電車のガード下の道路といった「スリバチ状」の箇所には水たまりが発生している場合は、絶対に進入せず引き返しましょう。

〔※1〕 浸水深：浸水域の地面から水面までの高さ

〔※2〕 アンダーパス：立体交差する道路で路面の高さが前後と比べて低くなっている道

浸水深	自動車走行
0～10cm	走行に関し、問題はない。
10～30cm	ブレーキ性能が低下し、安全な場所へ車を移動させる必要がある。
30～50cm	エンジンが停止し、車から退出を図らなければならない。
50cm～	車が浮き、また、パワーウィンドウ付きの車では車の中に閉じ込められてしまい、車とともに流され非常に危険な状態となる。

【台風】3. 参考資料

子供向けのセミナー用の資料は、以下のとおり。

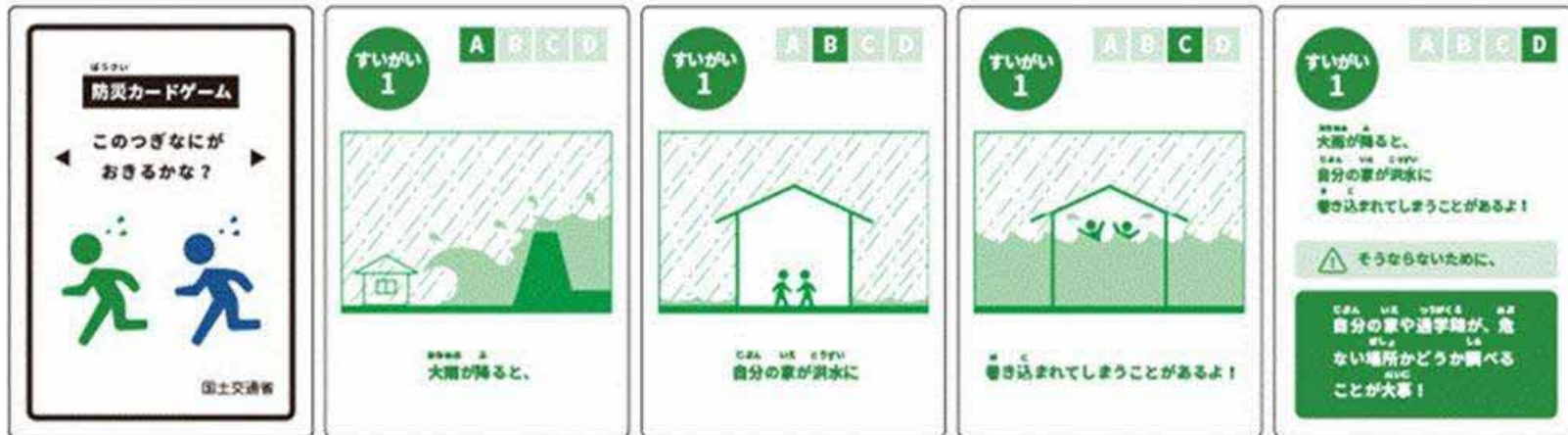


(リンク) 政府インターネットテレビ <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg17410.html>

防災カードゲーム「このつぎなにかおきるかな？」

地震の揺れがおさまり帰宅したら津波が家に！ドアの外に水がたまると玄関が開かなくなる！津波や水害が発生したときに起こる危険な状況をカードゲームにしました。

子供たちが遊びながら防災について学ぶことができます。防災教育の時間、休み時間や放課後に、みんなでワイワイ遊んで防災力を身につけよう！



(リンク) 国土交通省ホームページ http://www.mlit.go.jp/saigai/saigai01_tk_000005.html

ご清聴 ありがとうございます
アンケート記入にご協力ください



MS&AD あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

「浦安市自治会自主防災組織連絡
協議会防災リーダー研修」アンケート

